



若者の防災意識向上

次世代を担う高校生に積極的に防災対策に取り組んでもらうために、高校生の防災意識が高まるような機会をつくってはどうか。避難生活を疑似体験し、意見交換を行うイベントなどが考えられると思います。

総社高校1年
石井 友樹
(発言順位 5)

市長 昨年県立大学で実施した防災訓練では、テントを張って一晩泊まる野営訓練を初めて行いました。高校生の避難生活体験を企画するなど、若者とともに防災に取り組めるよう進めていきます。



東京五輪を契機とするボランティア活動

東京オリンピックの開催により、日本を訪れる観光客は増加すると言われています。そのおもてなしと環境維持、住民同士の交流のため、市全体が一丸となって清掃活動を行ってはどうか。

総社南高校1年
森 更紗
(発言順位 6)

市長 キャンプの誘致や民泊の推進などをオリンピックに向けて考えていますが、おもてなし精神の醸成とまちをきれいにする文化をつくるため、市民が清掃活動に参加する仕組みも検討していきます。



総社の魅力の発信

総社の魅力発信の先駆けとして、高校生が中心となって特産物やお土産、店舗などについてランキングを作成したり、具体的な収穫時期や直売所への案内を掲載するなど、観光客の心をつかむ情報を公開してはどうか。

総社高校1年
馬場 雄司
(発言順位 7)

市長 情報発信をするとき、総社市にしかないもの、総社市でしかできないことに力点を置くことが大切です。高校生には発信力がありますので、ぜひその視点や発想も生かして総社の魅力発信に協力してください。



ごみ減量について

ごみ袋の変動相場制をはじめとした取り組みを中・高生にも浸透させるとともに、中・高生に、総社市のごみ減量に向けてスローガンを作ってもらうなど、ごみ減量化に関わる機会をつくってはどうか。

総社南高校2年
仲田 好汰
(発言順位 2)

環境水道部長 現在、夏休みの課題として小中学生を対象にごみ減量化のポスター募集を行っています。これとコラボレーションしてスローガンも募集するなど、啓発に向けた取り組みを検討します。



高齢者と高校生の交流

高齢者と交流したいと考えている高校生がいても、高齢者の集いの場の情報を得ることができていません。高校に情報を共有するとともに、高校生が高齢者と触れ合う場として、高校の中でサロンを開くのはどうか。

総社南高校2年
平田 裕作
(発言順位 3)

市長 現在も社会貢献活動などで高校生が高齢者と交流する機会が設けられていますが、足りているとは思えません。地域にも働きかけて高校生が活躍できる場を増やし、交流の輪を広げていきます。



東総社駅の衛生と安全

東総社駅のトイレは清潔とは言いがたい状態です。高校生が清掃活動を行い、改善するのはいかがでしょうか。また、街灯が少ないため夜は不安です。現在のホームと待合の電灯をLEDに変えてはどうか。

総社高校1年
横山 はるな
(発言順位 4)

市長 駅の衛生面や暗さについては、JRに対して改善を要望していきます。現在素案を協議している段階にあるLRT化が実現すれば、東総社駅の姿は大きく変わっていくと思います。



高校生議会

若者の視点で 総社の未来を描く



① 総社商店街筋を多くの人が行き交う宮筋ものがたり ② 防災訓練での炊き出し体験 ③ ボランティアとして高校生も参加したイングリッシュデイキャンプ



障がい者千五百人雇用

障がい者が就労し続けるには、雇用する側や地域が理解を深め、サポートを継続することが必要です。高校生に向けて、障がい者と交流するイベントを開催したり、ヘルプマークの普及啓発を行ったりしてはどうか。

総社南高校1年
赤木 真衣
(発言順位 1)

市長 障がいのある人も貴重な働き手であることを知ってもらうことが大切です。就労や社会進出の壁になっている心の距離を埋めるためにも、さまざまなところで機会を増やしていきたいです。

総社市の未来を担う高校生に市政への関心をもちてもらおうと、3月23日に高校生議会が開催されました。高校生議会議員として、総社高校と総社南高校、倉敷翠松高校の生徒13人が参加。議席の指定や会議録署名議員の指名など、通常の市議会さながらの進行で行われ、市長や教育長ら市幹部と熱い議論を交わしました。

3月7日に行われた任命式での学習会を皮切りに、市政についての勉強を重ねた高校生議会議員。障がい者千五百人雇用やごみの減量、若者の防災意識向上、効果的な総社の魅力発信方法、英語特区の取り組みの展開など、若者の視点から見た市政の課題について、質問や提案を行いました。質問と答弁の概要は次のとおりです。

高校生議会は平成25年11月に開催され、今回で3回目です。

問い合わせ こども課子育て支援係 (☎ 8268)